

# 市議会だより No.38

平成27年9月1日



防府天満宮七夕祭り

阿弥陀寺アジサイまつり

防府天満宮光の斎庭(ゆにわ)

みなとオアシス三田尻登録記念式典

## 6月定例議会

議案の概要	.....	P2~P3
5月臨時議会	.....	P3
一般質問	.....	P4~P10
議会モニターからの意見	.....	P10

議会報告会のまとめ	.....	P11
特別委員会の報告	.....	P11
議会日誌	.....	P12
9月定例議会の予定	.....	P12

議会中継（ライブ・録画）がホームページで見られます!! [防府市議会](#) で検索

平成27年

# 6月 定例議会

6月定例議会は、6月17日から7月13日までの会期27日間の日程で行われました。

平成27年度一般会計・特別会計補正予算、個人情報保護条例中改正、市税条例等中改正、空き家等の適正管理に関する条例中改正など、議案13件、報告12件を審議し、原案のとおり可決しました。

主な議案等と審議経過の概要をお知らせします。

「賛否が分かれた議案に対する議員の態度」は、P3をご覧ください。

## 条例

### ■個人情報保護条例を改正

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、改正を行うものです。

### ■市税条例等を改正

地方税法の改正により、市税条例及び市税条例の一部を改正する条例を改正するものです。

主なものは次のとおりです。

#### 個人市民税関係

- ・住宅借入金等特別税額控除の家屋居住年の期限を平成31年6月末まで延長。

- ・ふるさと納税を行った個人市民税所得割の納税義務者は、申告することなく寄付金税額控除の適用を受けることができる。

#### 固定資産税関係

- ・サービス付き高齢者向け住宅に係る固定資産税の課税標準の特例割合を2/3とする。

#### 軽自動車税関係

- ・新車登録された軽自動車について、平成28年度分に限り、その燃費性能に応じた軽自動車税を軽減する。

#### たばこ税関係

- ・紙巻きタバコ三級品に係る税率の特例を廃止する。

#### マイナンバー法関係

- ・法人に係る納付書等に法人番号を記載することなど。

### ■空き家等の適正管理に関する条例を改正

空家等対策の推進に関する特別措置法の規定に基づき、空家等対策計画を策定し、空家等対策協議会を設置することも、条文を整備するものです。



危険な空き家の現状

### ■水産総合交流施設設置及び管理条例を改正

水産総合交流施設（潮彩市場防府）が道の駅として登録されたことに伴い、事業の追加等を行うものです。



潮彩市場防府

■水道事業、工業用水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例を改正  
公共下水道事業の予定処理区域を変更したことに伴い、計画処理人口及び計画一日最大処理水量の改正を行うものです。

### ■水防条例を改正

水防法の改正に伴い、条文を整備するものです。

### ■大平山索道設置及び管理条例の廃止

大平山ロープウェイ事業の廃止に伴い、条例を廃止するものです。

## 一般議案

### ■市道路線の認定、変更及び廃止

- ・認定路線…新町1号線ほか43路線
- ・変更路線…新橋大崎線ほか5路線
- ・廃止路線…中河内尾崎線



市道天神前榎松線

### ■工事請負契約を一部変更

平成26年2月に議会の議決を得て契約を締結し、施工中の右田小学校校舎改築（建築主体）工事請負契約について、設計変更に伴い、契約を一部変更するものです。契約金額は、5,178万3,840円の増額で10億1,368万8,000円です。

### ■高機能消防指令センター(Ⅱ型)の取得

高機能消防指令センター設備更新に伴う機器を購入するものです。

### ■平成27年度一般会計補正予算

12億6,736万7千円を増額し、補正後の予算総額を423億7,590万9千円とする予算案が提出されました。

## 予算

主な事業は次のとおりです。  
・地域スポーツ人口拡大推進事業  
・山〇国体において、防府市で開催された競技等を推進する事業の実施  
・住民基本台帳管理業務  
・マイナンバー法関連事務費負担金等  
・留守家庭児童学級運営事業  
・勝間小学校留守家庭児童学級の増設  
・園芸作物の生産機械整備事業  
・主穀用機械購入費用の補助  
・中小企業育成事業  
・中小企業振興会議の運営経費

マイナンバー法関連事務費負担金等については反対意見がりましたが、賛成多数で可決しました。  
(賛否No.1)

### ■平成27年度特別会計補正予算

と場事業及び介護保険事業の2つの特別会計予算を原案どおり可決しました。

## 報告

### ■市出資法人の経営状況報告

土地開発公社、社会福祉事業団、防府水道センター、文化振興財団、農業公社、地域工芸・地場産業振興センターの6つの出資法人の経営状況報告がありました。

### ■指定ごみ袋製作業務委託の契約

契約相手 山〇県業業(株)  
契約期間 平成27年5月18日から平成28年2月29日まで  
契約金額 6,352万5,600円

## 賛否が分かれた議案に対する議員の態度

○賛成 ×反対

賛否No	平成27年6月定例会	党派・議員名（※議長は除く）																	賛否の合計		議決結果									
		自由民主党 一心会					和の会					絆			公明党		日本共産党	改革の会	市民クラブ	無所属の会		賛成	反対							
		上田	橋本	松村	安村	行重	吉村	今津	清水	田中敏	小林	平田	藤村	安藤	河杉	重川	三原	山田	高砂	山下				山根	木村	山本	和田	田中健	久保	
1	平成27年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	22	2	可決

※賛否の態度が異なる議案等を掲載しています。ここに掲載していない24議案等は、全会一致で可決しました。  
※安藤議員は議長のため、通常は採決に加わりません。

## 5月臨時議会

5月臨時議会は、5月18日に開かれ、議案4件、報告4件、承認1件を審議し、原案どおり可決しました。

### 一般議案

#### ■桑山中学校校舎改築（建築主体）

設計変更に伴い、1期工事請負契約の金額を変更しました。  
相手方 成長建設(株)  
契約金額 2億8,467万7200円

### ■介護保険条例中改正について

介護保険法及び介護保険法施行令の改正に伴い、低所得の第一号被保険者の平成27年度、平成28年度における保険料率を改定、減額することになりました。

### 予算

#### ■平成27年度一般会計補正予算

1,666万2千円を増額し、補正後の予算総額が41億854万2千円となりました。  
主な事業は次のとおりです。  
・地域創生推進事業  
・介護保険事業特別会計繰出金

### 報告

- 交通事故による損害賠償の額の決定
- 西浦小学校仮設教室賃貸借契約
- 地域包括支援センター業務委託契約
- 公共下水道防府浄化センター長寿命化  
工事委託に関する協定

# Q&A 一般質問



6月定例議会では、18名の議員が市政について質問に立ちました。

質問と答弁の一部を発言順に紹介します。詳細については、会議録を9月中旬に製本しますので、市役所1号館閲覧コーナー、防府図書館でご覧ください。また、防府市議会のホームページでも会議録を見ることができます。

なお、本欄は、議員本人が質疑の内容を要約したものを掲載しております。

## 選挙年齢18歳への引下げに伴う若者の政治教育について

橋本 龍太郎（自由民主党一心会）

**問** 土曜授業などを利用して、子ども議会を開催してはどうか。

**教育長** 土曜授業は各学校が計画的に実施するもので、市全体で子ども議会を開催することは計画していない。市教育委員会では、平成26年度から「防府市夢プロジェクト」の一環として、市内児童・生徒を対象とした「菅公みらい塾」を開校し、「こんな防府市になつてほしい」というテーマとした討論会を行っている。

**問** 市長や議員などによる政治教育、主催者教育の事前講座を学校で行っている。

**教育長** 教育基本法による政治的中立性を保障するという観点から、市長や議員による事前講座は考えていない。

**問** 模擬選挙を開催してはどうか。

**教育長** 現在、市内中学校では生徒会役員選挙に  
 おいて、選挙管理委員会から投票箱などを借りて、告示から立会演説会、投票など選挙についての一連の模擬体験をしている。その中で、生徒会活動における主権者としての意識を醸成している。

**要望** 臨時期日前投票所の設置を。

**選挙管理委員会事務局長** 期日前投票システムの増設にはネットワーク構築などに2千万円以上の経費が必要で、増設は当面行わないこととしている。今後は国の動向を注視し、財政措置等が示されれば適切に対処していきたい。



防府高校文化祭の様子

## ICT（情報通信技術）を活用した市の取組を！

山田 耕治（絆）

**問** 国は「地域経済分析システム」を整備しているが、細分化した市独自の分析活用も必要では？

**市長** 市が保有している大量の行政データなどから、各種施策に有効な情報を引き出し、活用していく取組と、統計分析に関する能力を有する人材育成に努めたい。

**問** 市が保有している情報を分析活用し、戦略に結びつけるには、総合政策部内でチームを作ることが望ましいのでは？

**総務部長** 部次長、課長等区分けたチームを作り、色々な施策に対して取りかかろうとしている。

**問** ICTを活用した観光振興の今後の取組は？

**産業振興部長** SNSの利点を活かし、情報発信の時期等に工夫を凝らして、新規のファンを増やし、観光誘客に繋げたい。

**問** どのような基準でデータ収集を行っているか？

**産業振興部長** 来客者数のデータを収集し、施策に役立てている。

**問** 今後は市独自の細分化したデータ収集も必要では？

**産業振興部長** 研究していきたい。

**問** ホームページに市で開催されるイベントの掲載をすべきでは？

**産業振興部長** 観光協会、商工会議所のイベントも掲載したい。

**提案** 市民と協働して市の課題を解決する「防府市サポーター」の登録制度を導入しては？

**総合政策部長** 市民活動支援センターを中心に取組んでいるが、構築に向けて検討していきたい。

**問** タブレットを利用した学習指導をどう考えているか？

**教育長** 使いやすいソフト等の紹介や指導をしていきたい。

### 富海地域の再生 なごやふぐの捕獲、販売の解禁

今津 誠一（和の会）

**要望** 現在、富海地域は「地域おこし協力隊」を活用した伝統工芸「藍染」の伝承、古民家の保存と活用、ホタルまつり等で大いに賑わいを見せている。



この度、市の文化財に指定された「伊藤・井上両公上陸遺蹟碑及び本屋（飛船問屋）宅跡」の整備が今後の課題となった。この整備計画を富海地域再生の「五つの取組」の中に位置付けるとともに、市の地方創生策として国、県に強く要望していただきたい。

援を積極的に要望してまいりたい。



銅像 両公の伊藤・井上陸遺蹟碑

**要望** 県では、なごやふぐの捕獲、販売が禁止され、漁業者の収入に大きな影響を及ぼしている。禁止措置は、旧厚生省の通知によりなされたが、

長崎県及び熊本県では、無毒な身に毒が移行するメカニズムを解明し、捕獲、販売が解禁となっている。岡山県及び香川県も、これに倣って解禁となつてはいるが、県も毒性調査を行い、厚労省に解禁を求めねば。市も水産業の振興と漁業者の収入安定のため、県に強く要請すべき。

**産業振興部長** 県及び関係機関に対し、毒性の検査が実施されるよう、強く要望してまいりたい。

### 留守家庭児童学級について

山下 和明（公明党）

**問** 留守家庭児童学級に在籍できるのは、小学校1年生から3年生までであったが、子ども・子育て支援新制度において、受入の対象枠が、6年生までに大幅拡大された。

持参し、領収書を受け取り保護者に届けているようだが、納付の方法を口座振替か振込に変更できないか。

また、一学級の人数がおおむね50人以下から40人以下となる。そこで学級数の増設、それに伴う放課後児童支援員の採用、補充の行動計画はどのようになっているか。

**健康福祉部長** 現在の持参納付のほかに、口座振替を始め、銀行やコンビニでの納付も含め、保護者の利便性や事務の効率化、費用対効果を踏まえ、検討したい。

**健康福祉部長** 実際の利用希望児童数の推移を注視しながら、校舎の改築や空き教室の利用により、順次計画的に増設を行いたい。また、学級の増設に伴う支援員の確保については、支援員は一学級3人体制となっており、今後も学級の増設に併せ、適正な配置ができるよう努めたい。

**問** 留守家庭児童学級の保育料3千円については、その都度、支援員が市へ

**問** 留守家庭児童学級にパソコンがないが、保護者宛のお知らせや事務日誌を作成するために、パソコンと印刷機を設置できないか。

**健康福祉部長** 留守家庭児童学級における必要性、使用頻度、効率化などを踏まえ、検討したい。

**問** 留守家庭児童学級の保育料3千円については、その都度、支援員が市へ

どうか。

### リフォーム助成事業 農業・水産業の振興について

安村 政治（自由民主党一心会）

**問** 「住宅リフォーム助成事業」の平成27年度の申込件数と金額は。

1事業者が認定を受けており、その事業内容は、規格外のトマトを活用したジャム、ピュレの商品開発と販路拡大である。

**市長** 申込件数733件、助成対象工事費6億7千2百万円で、平成28年度も景気を下支えするこうした事業は必要と考えている。

**問** 道の駅などで生産者が直販できる仕組み作りが必要では。

**問** 「まちなか店舗リフォーム助成事業」の平成27年度の申込件数と金額は。

**産業振興部長** 潮彩市場のさかな祭りのように、生産者自らが販売できる機会が作れないか検討していく。

**市長** 申込件数14件、助成対象工事費780万円。県内初の取組で、改善の余地がある。

**問** 今後の計画において、適用区域を商店街から市全体までに広げるべきでは。

**市長** 適用区域を拡大することも視野に入れているが、平成28年度以降も助成事業を継続したい。

**問** 農業・水産業の6次産業化の件数と、その内容は。

**産業振興部長** 本市では

6次化を検討されている方に対して支援していききたい。



様子 潮干狩りの様子

### 桑山公園整備、市民ふれあいベンチ設置事業、英雲荘の整備計画について

吉村 弘之(自由民主党一人心)

**問** 桑山の犬楽寺付近の交差点改良ができないか。

**市長** 道路拡幅が必要で、それに伴う用地買収が必要ことから、現時点では困難。

**問** 各遊具がある場所の駐車場を整備拡充することはできないか。

**市長** 駐車場には平坦な土地が必要であるが、調査検討していきたい。

**提案** 桑山公園と井上山を防災公園として整備しては。

**土木都市建設部長** 土砂災害警戒区域になっており、平成26年度の見直しで避難指定場所を解除したところで、そのような整備は考えていない。

**問** 過去3年間のベンチの寄付状況は。

**土木都市建設部長** 平成27年2月に寄贈を受けた1件のみ。

**提案** ベンチの設置を市民の参画や寄付で、広島市のよつこ制度化してほしい。

**土木都市建設部長** 他市の事例などを参考に検討していきたい。

**問** 英雲荘の入館者数と施設利用状況は。

**教育部長** 平成23年度は3,579人、同24年度は3,932人、同25年度は2,526人、同26年度は7,962人、今年度は4・5月の2カ月で2,839人。

**問** 英雲荘の今後の整備計画は。

**教育部長** 平成28・29年度は護岸修復、庭園の植栽、池への給水施設整備などを実施する予定。

**問** 駐車場のカラー舗装化と仮設トイレの活用は。

**教育部長** 仮設トイレは、平成30年まで置き、その後は有効活用を考えたい。

カラー舗装は困難。



### 指定管理者の労働環境の整備を中小企業振興施策の充実を

高砂 朋子(公明党)

**問** 今後、増加傾向にある指定管理者の労働関係法令の遵守の把握状況は。

また、適正な労働条件の確保のために、社会保険労務士等、専門的知見を有する外部有識者の視点を活かした労働条件審査の導入が必要では。

**市長** 本市は指定管理者制度を平成18年度から導入し、現在39施設。適正な管理運営の確保のため、指定管理者から事業報告書の提出を求め、モニタリングを毎年度実施。その際、労働環境の確保についても市が確認。今後、労働条件の適正な確保のため、モニタリングの評価を細分化する。施設によっては、外部有識者による労働条件審査の必要性もあると思われるので研究してまいりたい。

**要望** 平成27年3月、議員提案による「中小企業振興基本条例」が制定されたことを受け、今後の総合的かつ計画的に中小企業振興の施策が展開されていくことを期待する。

事業承継や人材育成への支援拡充も視野に入れた計画の策定を望みたい。

**産業振興部長** 8月の条例施行に向けて、中小企業振興会議の準備や基本計画案を作成している。今後、承継や人材育成に悩む中小企業等から現状をお聞きし、支援策の充実を図りたい。

**その他の要望**  
◆身体障害者手帳1〜3級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級の方に交付されている福祉タクシー利用券だが、現在1乗車1枚500円の助成で未利用分は返還。1乗車2枚まで可能にしてほしい。



### 道路の管理についてクリーンセンター運営について

山根 祐一(公明党)

**問** 認定外道路の補修等については、市が補修資材を給付して関係地区住民が工事をするということしているが、それが困難な地区もある。自治会要望で、市が直接工事を請け負う制度ができないか。

**土木都市建設部長** 現在、市が管理している市道距離の2倍以上の道路を管理することになり、困難である。

**要望** 他市には自治会が外部業者に発注する工事に補助する制度がある。神奈川県秦野市では、100万円を上限とする工事費の75%を補助している。市民生活向上のため、市独自の制度を考えたい。

**問** クリーンセンター啓発施設では、廃棄された家具等の修理をしており、平成26年度は家具等の再利用品の展示会を10回行い、208点を無償譲渡している。多くの市民が

参加できるように土曜・日曜も実施してほしいか。また、自分で持ち帰りにしているが、希望者には市が有料で運搬できないか。あるいは業者をあっせんできないか。

**市長** 展示会は平日のみだが、毎月第2日曜日の午前中は施設見学の入会をしており、見学コースの中で、家具等の再利用品の申込を受けている。有料で配送することについては、緑ナンバーの営業車両を保有する必要があり困難である。また、特定の民間業者をあっせんすることはできない。



再利用品展示コーナー

### アスピラート・郷土資料館の充実 地域経済構造分析で地域活性化

田中 健次（市民クラブ）

**問** 平成30年の明治維新150年に向け「やまぐち幕末—SHIN祭」を県は展開、市も展示施設を充実すべき。アスピラート展示ホールは、①ガス式消火設備、②湿度管理を可能に、③明るさ調整が可能な照明設備を整備しないと、作品貸出を渋る美術館等が出る。

**総合政策部長** ①スプリングクーラーが誤作動で展示品を水で濡らすおそれ、②湿度調整不可、③蛍光灯、スポットライトの明るさ調整不可。細かな問題はありますが、使用に大きな支障はない。今後、適切な設備の更新に努める。

**問** 照明や展示ケースの充実を早急に実施すべき。

**総合政策部長** 検討してまいりたい。

**問** 文化財郷土資料館は展示スペースが狭い。スペースの拡大を求めた以前の一般質問では、「平成24年度レイアウトの変

更計画、平成25年度展示室の拡大、設備の改修を行いたい。」と回答されたが、何もされていない。

**教育部長** 平成25年度の庁内機構改革で、資料館内に新たな課が入り、スペースの拡大は難しい。

**問** 地方創生に取り組むに当たり、産業連関表を活用し、地域経済構造の分析をすべき。地域経済活性化や雇用創出のため、地域経済構造の理解と有効な政策の実施が必要。

**市長** 県は5年ごとに産業連関表を公表。膨大な情報収集と期間が必要で、経済分析を行うことは非常に困難だが、今後の産業振興施策の展開に欠かせない視点。地方創生の総合戦略に盛り込むこと



地域経済構造分析 (佐賀市・豊岡市)

### 行革の効果額 II イコール 職員給与の削減額

木村 一彦（日本共産党）

**問** 市長は平成10年の就任以来、「行政改革」を施策の中心に掲げ、ことあるごとにその「効果額」をアピールしておられるのか。

**市長** 歳出の削減・節減額（＝民間委託の推進と職員数の適正化）のほか、土地売却収入などを計上している。

**問** 市長就任時の平成10年度と平成25年度を比べると、正規職員は205人（22％）減っており、県内他市に比べても突出している。このため職員給与の総額は22億4千万円減、16年間の累計で159億2、700万円減となつている。逆に、経常的委託料は9億770万円増、累計で60億3、900万円増となつている。つまり、民間委託の推進と非正規職員の増加によって正規職員を大幅



夜遅くまで灯りがついている市庁舎

に減らし、給与総額を削減したことが行革の効果額に直結しているのではないか。

**市長** 委託料増加によるマイナスの効果額は、当然、職員給与の減少による効果額から差し引いて算出している。

**問** 職員の大規模削減により、残業が県内でも突出して多い。また市独自の技術力が低下している。この状況については。

**市長** 時間外勤務については縮減に努めたい。民間委託により市民サービスが低下しないよう、また「自治力」を高めるよう留意する。

### 高齢者外出支援助成事業の拡充を 若者の市内定着支援について

山本 久江（日本共産党）

**問** 平成26年8月から実施された高齢者外出支援助成事業は、所得制限や世帯全員が車を所有していないこと等、厳しい対象条件となっており、事業の目的にふさわしく見直すべきではないか。また、助成額の増額は検討できないか。

**健康福祉部長** 平成26年度始めたばかりの制度であり、もう1PRに努め、実績を検証しつつ、必要に応じ、対象者の条件や助成額について研究したい。

**問** 若者の市外転出が多い中、総合的な若者定住対策を地域再生の重要課題として位置付けることが必要である。若者が働きやすい環境づくりに向けて、雇用支援対策をどう強化していくのか。

**市長** 若者の市内定着を推進する様々な雇用支援対策事業を展開しているが、若者の地方定着の課題を重要課題としてどう

え、今後も他市町の良い制度を柔軟に取り入れ、若者が地元で働き続けられる環境づくりをなお一層進めたい。

**問** 若者の正規雇用の向上に向けた取組は。

**産業振興部長** 機会あるごとに若者の地元企業への採用を要請している。他市町の有効な取組も調査研究したい。

**問** 若者の新規雇用に積極的に取り組む事業所への支援が検討できないか。

**産業振興部長** 新卒者雇用に関し、何らかの検討をしなければならぬ時期にきている。市中小企業振興会議等にも諮りながら検討したい。

**問** 定住促進奨学金の拡充及び給付型奨学金の創設ができないか。

**教育部長** 現行制度の周知を図りたい。

**その他の質問項目**  
◆自治会館整備の補助金の見直しについて

## 臨時財政対策債について

久保 潤爾（無所属の会）

**問** 防府市の臨時財政対策債の残高は、平成27年度末で約178億円になる見込で、そうなれば市債（市の借金）の約44%を占めることになる。市当局は臨時財政対策債についてどのように考えているのか。

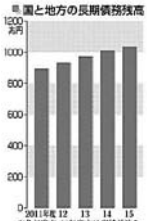
**市長** 臨時財政対策債については、基本的な行政サービスに必要な一般財源として捉え発行してきた。発行に当たっては充分な考慮をした上で必要な額を計上し、承認をいただいたものについて執行している。発行可能額の増減があっても上方修正せずに、予算に基づき執行している。しかし、交付税算定上、措置されるとはいえず、借金であることに変わりはなく、将来への負担を残すものなので、予算編成、執行に当たっては慎重に対応していきたい。

**問** 臨時財政対策債の制

度上、起債を抑制することとは、自治体の「未来への貯金」につながるものである。予算消化の見込がついたときに、可能であれば金額を下方修正して、差額を減債基金に積むなどして将来負担の軽減につなげていくことはどうか。

**総合政策部長** 決算見込が立った時点で、臨時財政対策債の残高を抑制するということ、減債基金を積み増して将来の償還に充てるということ、共に同感である。

**要望** 臨時財政対策債の性質をしっかりと踏まえ、た上で起債を行い、将来への負担を少しでも軽減する努力をしていただきたい。



将来世代の負担軽減を

## 健康寿命を延ばす具体策について

清水 浩司（和の会）

**問** 健康寿命を延ばす必要があるのではないかと感じている。若いうちから運動などで体を動かすことが健康寿命の延ばりに繋がると認識して体を動かすことが重要だ。

**市長** 日常生活に介護が必要な人が増加している。生き生きと自立した生活を送るには、健康寿命の延伸が重要である。市民が健康に関心を持ち、生活の質を高めるため、幅広い対策が必要であり、本市では健康づくりや介護予防に取り組んでいる。国や県の健康づくり計画では、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目標に掲げており、本市においては、健やかほろぶ21計画（第2次）を策定中であり、今後計画案を示し、意見を頂きたい。

**問** スポーツと体力の関わりについて、どのように捉えているか。

**市長** 普段から元気に体を動かす人は、そうでない人と比較して、生活習慣病やうつ、認知症の発症リスクが低いことが明

らかになっている。若い頃から運動などで体を動かし、運動機能の低下を防ぐことが健康寿命の延ばりに繋がると認識して体を動かすことが重要だ。  
**提案** 健康ポイントを導入してはどうか。

**市長** 県が健康寿命の延ばしを図るため、健康マイレージ制度の導入を進めている。これは健診受診やウォーキング、健康教室やイベントへの参加など、健康づくりに取り組むことでマイレージを獲得でき、県内の協力店で使える特典カードが発行される。本市においても、この健康マイレージ制度及び介護支援ボランティアポイント制度の導入に取り組んでまいりたい。



## 新たな学校誘致は電柱建替は道路敷地外に

田中 敏靖（和の会）

**問** 新たな学校の誘致は考えないか。例えば、防衛大付属高校を北基地周辺に。またシルバー学校を作り、技術の伝承を行えないか。

**市長** 人口増加や若者による賑わいの創出など、非常に波及効果があるものと認識している。可能な限り支援していきたい。本市には航空自衛隊、陸上自衛隊の部隊が所在し、経済やまちの活性化を支える産業基盤の一つとして重要な位置にある。国における人口減少の克服・地方創生実現に向けて、地方へ新たな人の流れをつくるため、「航空自衛隊に関連する学校」の誘致を国・県に対し希望している。

高齢者の社会参加や技術の伝承の場となる学校等の進出は、他の教育機関の新・増設の動向・情報を収集し、機を逃さない対応をと考えている。

**問** 中国電力等が定期的に電柱の建替をされているが、道路敷地外にお願いできないか。電柱移設負担金の減免、助成はできないか。また、市道認定等の手続を簡素化できないか。

**土木都市建設部長** 市道上の電柱の建替、移転及び新たな設置の際には、4mの有効幅員を確保するため、民地への設置をお願いしている。市が行う電柱移設は、市道内は無償であるが、民地は有料である。（一般は逆）既存電柱の負担金減免・助成は、直接設置者と協議。申請地の現地調査や確認のための資料の提出が不可欠であるので、関係書類の提出をお願いしている。

市道図のインターネット公開は、利便性の向上を考え、協議、検討し、また、今後有料で配布できるようにする。



### 議員定数について 利用者のための多目的広場の整備について

和田 敏明 (改革の会)

**問** 一般的に常任委員会  
で「活発な審議・討論」  
による論点・意見の集約、  
議論による意思形成過程  
が可能な人数は、7名程  
度が望ましいとされてお  
り、本市議会では3常任  
委員会×7名の計21名が  
適当な定数と考えられる  
が、定数17名の考えは変  
わっていないのか？

**市長** 35,578名の  
市民による、直接請求に  
示されている定数17名の  
数を重く受け止めてい  
る。定数21名となること  
は、市民のお気持ちに大  
きく前進する。

**問** スポーツセンター  
のグラウンド特に南側は、  
大きな石が地面から出て  
くるなど、非常に危険な  
状態にある。早急に対応  
し、安全を確保するべき  
では？

向島運動公園多目的広  
場も含め、各コートに屋  
根付きベンチの設置が必  
要では？併せて、審判員



防府市スポーツセンター  
北側グラウンド



向島運動公園多目的広場

や観戦者にも配慮が必要  
と考える。

**市長** 早急に石を撤去  
し、土を被せる。全体の  
整備や屋根付きベンチに  
ついては平成28年度予算  
で対応することが本来の  
筋である。

**要旨** 本来、有償で開放  
している施設を、利用者  
のために整備するのが施  
設管理者の責務である。  
従って、全ての施設につ  
いて危険箇所を発見した  
時点で早急に調査し、整  
備するべきである。

### 地区担当職員制度・ゾーン30・学 校給食について

重川 恭年 (絆)

**問** 市に地区担当職員が  
配置されて8年が経過し  
ているが、市民の要望に  
十分応えられていない。  
考え直すべきではないか。

**市長** 市と各地域自治会  
連合会を組織する15地域  
に行政のパイプ役として  
担当職員を任命している  
が、その活動が見えてこ  
ないという声をいただい  
ている。

**問** 周知徹底・改善すべ  
きではないか。

**総合政策部長** 今後、更  
なる制度の周知に努め、  
充実を図ってまいりたい。  
**問** 宮市地域に設定され  
ているゾーン30の効果と  
実績はどうか。

**土木都市建設部長** 現状  
では、従前とあまり変化  
が無いのが実情で、改善  
する余地が考えられるの  
で、警察や公安委員会な  
ど関係機関と協議してま  
いりたい。

**問** 食の安全、特に学校  
給食における使用食材の

調達基準や使用基準をど  
のように定めているか。

**教育長** 基本的に国内産  
材料を国内で加工したも  
のとし、更に防府産・県  
内産のものを優先するよ  
う指導している。

**問** 地場産品の利用率  
や、県内での比較数値等  
は把握しているのか。

**教育部長** 平均利用率は  
平成26年度が57%、県内  
順位では9位となってい  
る。

**問** 検品体制も確実にし  
てもらいたい。

**教育部長** 価格、品質、  
生産地、製造日等、十分  
チェックしている。

### 将棋名人戦の招致について

中林 堅造 (和の会)

**問** 将棋名人戦を英雲荘  
や芳松庵を対局場所とし  
て来年、再来年に向けて  
招致してはどうか。県内  
では、長門市の白木屋グ  
ランドホテルで平成16年  
4月26日、27日に第2局  
目、平成19年4月10日、  
11日に第1局目が開かれ  
て以来、8年間開催され  
ていない。招致できれば、  
前夜祭だけでも350  
人、関係者を合わせれば  
2日間で相当の集客に繋  
がると思うがいかがか。

**市長** 格式高い将棋名人  
戦を本市において開催す  
ることは、将棋文化の普  
及、発展に寄与し、全国  
から多数の将棋ファンの  
来客による経済効果や新  
聞紙面、NHK衛星放送、  
名人戦中継サイトなどで、  
開催地として紹介される  
情報発信の効果は大きい。  
招致条件としての応募要  
件は、①名人戦の対局に  
ふさわしい対局場や控え  
室が提供できる、②大盤

解説場、取材本部、検討  
室が近隣、対局室から大  
盤会場へ中継モニターの  
ケーブルが配線できる、  
③宿泊施設、前夜祭が近  
隣施設で開催でき、将棋  
普及に貢献できる、④  
様々な面で地元の協力が  
得られること等であり、  
英雲荘や芳松庵を対局場  
所にしての名人戦の開催  
は、現在のところ応募要  
件を満たさない。しかし、  
経済効果が期待できるの  
で、要件を満たすための  
課題を解決するため、過  
去の開催地である武雄  
市、松江市の調査、研究  
を行っていく。



三田尻港の周辺整備ついに開始！  
海と親しみ、市民が憩える港へ

松村 学（自由民主党一人心会）

**問** 潮彩市場が今年4月に「道の駅」となり、出店希望者も殺到し、更に7月には「みなとオアシス」に本登録、3カ年程度で周辺整備される予定だが、三田尻港区域に市民がいつも集い、賑わいの創出と市民の憩いの場となるような整備となっているのか？

**市長** 潮彩市場周辺の県有地は、イベント時の臨時駐車場や緑地を中心とした整備を予定しているが、地域交流の拠点になるよう、引き続き検討する。また、潮彩市場は10月10日に「道の駅」としてオープンするため、現在、駐車場整備や多目的トイレの改修を進めている。新たな出店希望者には臨時店舗で対応し、新たな外向き店舗の設置や旧市場の一部解体を含めて、店舗の増床や休憩施設の拡充する必要がある。

**問** 緑地の整備だけでは、イベント時だけしか人が来ない。海をモチーフにした公園の整備や桜の植樹を行い、海の幸がすぐ味わえるお花見スポットとして、人がいつも賑わうようにすべきではないか？

**土木都市建設部長** ご提案について検討したい。  
**問** 三田尻港は風光明媚な良港で、現在も年に数回程度クルージングを行っているが、海を活かした「道の駅」にするために簡易的なクルージング事業はできないか？  
**産業振興部長** 回数が増えた方がよいので、どの程度できるか検討する。



議会モニターからの意見

モニターから寄せられた意見などの一部を紹介します。  
(内容は要約しています。詳しくは、議会ホームページをご覧ください。)

通 信 内 容	市 議 会 回 答
議会モニターの職務内容の「アンケート調査への回答」の対象を一般市民に拡大することによって次のことが期待できるのでどうか。 ・市行政をチェックする視点に、市民の生活実感データに基づき視点を加えることができる。 ・市民の市議会活動への関心が向上し、市民参加が進む。	議会モニターに関するアンケートについては、議会が必要と判断した場合に実施するもので、常に行うものではありません。 ご提案のありましたアンケート調査を一般市民に拡大する件につきましては、議会モニターに関するものとは別の枠組みと予算措置が必要になります。 つきましては、市民アンケートについては他市町村の議会の例も参考に調査・研究してまいります。
国会議員や県議会議員は地域ごとの選挙区で選出されているが、市議会議員は市を一つの選挙区として選出している。 防府市全市を一つの選挙区とする市議会議員の選出方法を、県議会議員の選出のように、市内をブロックに分けて、許容できる格差内で定めるブロックごとの定数の市議会議員を選出することで、防府市全域の行政課題に取り組めるようにすることが必要であると思う。	選挙区の設定は、都道府県議会議員や政令指定都市議員の選挙に関し公職選挙法に規定されているものの、市町村議会議員の選挙については、同法の規定に“特に必要があるときに条例で選挙区を設けることができる”とされており、一部の合併後の市議会議員選挙において採用されています。 しかしながら、本市においては同法に規定する“特に必要があるとき”は現在のところありません。
4月より2回の傍聴（教育厚生委員会、総務委員会）に参加しましたが、市職員の議題説明、議題に対する市議会議員の質疑応答において、委員長が発言者をアナウンスしますが、顔と氏名が分からないため内容に緊張感を感じません。 スライド等で、質疑応答者の氏名を表示できないか検討して欲しい。	議会常任委員会を傍聴されてのご意見ありがとうございます。委員会では、委員と市執行部が対面する形で審査がなされることや傍聴者の席が最後部席付近に設けられていることから、ご不自由をおかけしています。 議場で開催するような、カメラを使用した傍聴席へのモニター表示は、経費やスペースの面から難しいのですが、少しでも改善できるものがないか検討したいと思います。
今日まで委員会や臨時会を拝聴してきて感じたことは、第一に、まるで職業としての政治家という印象を抱きました。行政が立案・提案し、そのほとんどが原案どおり可決されている状況で、その原案に対する自他の吟味を垣間見ることがありませんでした。 立法機関である議会において最重要課題は何でしょう。議会自身が市民にとって善なることを政策立案し、それらを多数決という安易な多数決主義に頼らずに自他を吟味の俎上に載せ、説得の技術を駆使して行政に執行させることが立法機関のあるべき姿ではないでしょうか。 次に、「政治とは何か」という政治そのものを顕現させるような質疑応答も、あまり聞くことができませんでした。市民の側に立って、思惑ではなく事柄自体を基準として吟味を尽くすことが大切であると考えます。	議員自身が市民にとって善なることを政策立案することについては、本会議での市執行部に対する一般質問や議員提案による条例の制定などがあります。 本市においては、他にも常任委員会の所管事務調査や特別委員会などで審議等を行っております。市民の側に立つ政治についても、議会基本条例に基づく議会報告会や議会懇談会などで、市民の意見を直接聞く機会を設けております。

## 議会報告会へのご参加ありがとうございました

5月14日から22日まで、議員が4班に分かれ、市内15地区で開催しました議会報告会では、各地区自治会のご協力のお蔭をもちまして、348名にご参加をいただきました。心からお礼申し上げます。貴重なご意見、ご要望は、取りまとめが終了次第、市議会ホームページや本紙面にてご報告いたします。

※班別議員は次のとおりです。

- 1班 安藤二郎 上田和夫 平田豊民 藤村こずえ 山田耕治 山根祐一 和田敏明
- 2班 松村学 木村一彦 重川恭年 中林堅造 橋本龍太郎 山下和明
- 3班 高砂朋子 久保潤爾 田中健次 田中敏靖 三原昭治 安村政治
- 4班 吉村弘之 今津誠一 河杉憲一 清水浩司 山本久江 行重延昭

地区名	人数(人)	担当班
右田	31	1班
西浦	30	4班
中関	9	2班
小野	32	2班
向島	30	3班
佐波	15	1班
華城	23	3班
大道	21	2班
新田	18	3班
華浦	17	1班
野島	26	4班
勝間	27	2班
牟礼	29	1班
松崎	15	4班
富海	25	3班



向島地区



大道地区

## 庁舎建設調査特別委員会の報告

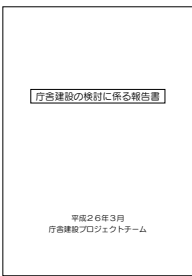
(4月17日)

今回は、市執行部から「庁舎建設懇話会」の報告書(市ホームページに掲載)と今後の予定について説明を受け、質疑を交わしました。

平成26年10月に設置された懇話会は、学識経験者、団体代表、公募の市民の14名で構成され、5回の協議を重ね、平成27年3月に①新庁舎建設の必要性、②庁舎の機能、あり方、③事業費、財源、事業手法等、④今後の進め方の4点について意見報告書をまとめ、解散しています。

今後は、平成27・28年度で「庁舎建設基本構想・基本計画」を策定する予定です。計画の策定にあたっては、市民の意見を反映するための検討委員会を平成27年8月に設置し、市民アンケート調査を実施する考えです。平成28年度にはパブリックコメントを実施、基本構想・基本計画を策定、平成29・30年度には基本設計、実施設計を行い、平成31年度には建設工事に着手する予定との市執行部の考えが説明されました。

委員の質疑に対し、「懇話会の報告書は、基本構想・基本計画策定の参考資料とする。」、また、「庁舎の建設用地の選定については、平成27年度に重点的に取り組み、方向性を出す。」との答弁がありました。



## 総合交通体系調査特別委員会の報告

(6月9日)

今回は、幹線・生活道路の整備、海上交通及び都市計画道路の見直しについて、市執行部から現状の説明を受けました。

幹線道路の整備では、「防府環状線と国道との接続について、いつごろ明らかになるのか。」との質疑に対して、「現在、国、県において協議中です。引き続き協議を重ねて、早い時期に御報告したいと考えています。」との答弁がありました。

生活道路の整備では、「下河内中河内線の道路拡幅工事の着手時期や工事期間中の通行制限についてはどうなるのか。」との質疑に対し、「平成28年度にJR西日本と協定を締結後、平成29年度からの工事を予定しています。工事期間中は片側交互通行となりますが、その後、JR西日本が施工する踏切拡幅工事の期間は全面通行止めとなる見込です。」との答弁がありました。

また、都市計画道路の見直しでは、「都市計画道路の廃止の判断は。」との質疑に、「幹線道路としてではなく、他の路線へ代替させることで廃止路線として整理をしました。」との答弁がありました。これに対して、「関係者等に十分な説明を。」との要望や、「存続となる路線についても、今後の計画を早い時期に示すように。」との意見がありました。

今回は、各交通体系個々の事業について説明を受けた上で、今後の調査・研究対象の絞り込みをしたいと考えています。

# 議会日誌

## 5月

- 8日 会派代表者会議  
全員協議会
- 13日 議会運営委員会  
勉強会
- 14日 議会報告会（富海・松崎）
- 15日 議会報告会（牟礼・勝間）
- 16日 議会報告会（野島）
- 18日 臨時議会  
議会報告会（華浦・新田）
- 19日 議会報告会（大道）
- 20日 議会報告会（華城・佐波）
- 21日 山頭火ふるさと館検討協議会  
議会報告会（向島・小野）
- 22日 議会報告会（中関・西浦・右田）

## 6月

- 1日 議会まちづくり委員会
- 9日 総合交通体系調査特別委員会
- 11日 勉強会
- 12日 議会運営委員会
- 17日 6月定例議会開会  
広報編集委員会
- 22日 本会議（一般質問）
- 23日 本会議（一般質問）
- 24日 本会議（一般質問）
- 25日 本会議（一般質問）  
議会運営委員会
- 29日 予算委員会（全体会）
- 30日 常任委員会・予算分科会（総務）

## 7月

- 1日 常任委員会・予算分科会（教育厚生）
- 2日 議会改革の視察受入（下松市）
- 3日 常任委員会・予算分科会（環境経済）
- 8日 予算委員会（全体会）
- 9日 庁舎建設調査特別委員会
- 13日 6月定例議会閉会  
広報編集委員会  
議会改革推進協議会
- 14日 山頭火ふるさと館検討協議会
- 23日 議会改革の視察受入（広島県三次市）
- 24日 議会改革推進協議会
- 28日 広報編集委員会
- 31日 議会まちづくり・地方創生委員会

## 9月定例議会の予定

- 9月 3日 本会議（開会）
- 7日 上下水道事業決算特別委員会
- 10日 本会議（一般質問）
- 11日 本会議（一般質問）
- 14日 本会議（一般質問）
- 15日 本会議（一般質問）
- 17日 予算委員会（全体会）
- 18日 常任委員会・予算委員会分科会（総務・教育厚生・環境経済）
- 25日 一般・特別会計決算特別委員会（総務）
- 28日 一般・特別会計決算特別委員会（教育厚生）
- 29日 一般・特別会計決算特別委員会（環境経済）
- 10月 1日 予算委員会（全体会）
- 6日 本会議（閉会）

会議の開会時刻は、午前10時です。  
なお、日程及び開会時刻は変更になる場合があります。  
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 TEL (0835) 25-2182

### 編集後記

広報編集委員になって今回で3号目となりますが、最近の防府市を巡る環境の変化には目を見張るものがあります。

JT跡地の売却と工場誘致、旧鐘紡跡地へのバイオマス発電所建設発表、大河ドラマ「花燃ゆ」放映、潮彩市場防府の「道の駅」認定などのうれしいニュースが続いています。

国では地方創生が叫ばれ、地域の特色を活かした政策や事業を立案して実施していくことで、国の支援が受けられる枠組みが作られており、地方議員、とりわけ市民と一番身近に接している市議会議員の役割が重要となってきました。

その中で、ほうふ市議会だよりも議員自ら執筆にかかわることでも、少しでも「開かれた議会」、「親しみのある議会」になるよう頑張っていきたいと考えています。

### 【議会広報編集委員会】

◎吉村弘之 ○重川恭年

久保潤爾 山本久江

田中敏靖 和田敏明

(◎)委員長 (○)副委員長